

# 令和8年第1回議会 説明資料（その2）

## 【議案第2号】

令和8年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計  
予算案

- 1 予算の総括
- 2 事業の概要
- 3 令和8年度予算(案)の概要
- 4 債務負担行為
- 5 財政状況
- 6 令和8年度機構整備及び職員配置計画

# 1 予算の総括

## (1) 収益的収支 (事業運営に関する収益と費用)

(単位：百万円)

区 分	R 8 予算	R 7 予算	増減(△)
	①	②	①-②
収 益 (A)	13,010	13,059	△ 49
費 用 (B)	12,561	12,583	△ 22
収支差(A-B)	449	476	△ 27

- ・ 営業外収益の減△
- ・ 営業費用の減△

## (2) 資本的収支 (施設整備等に関する収入と支出)

(単位：百万円)

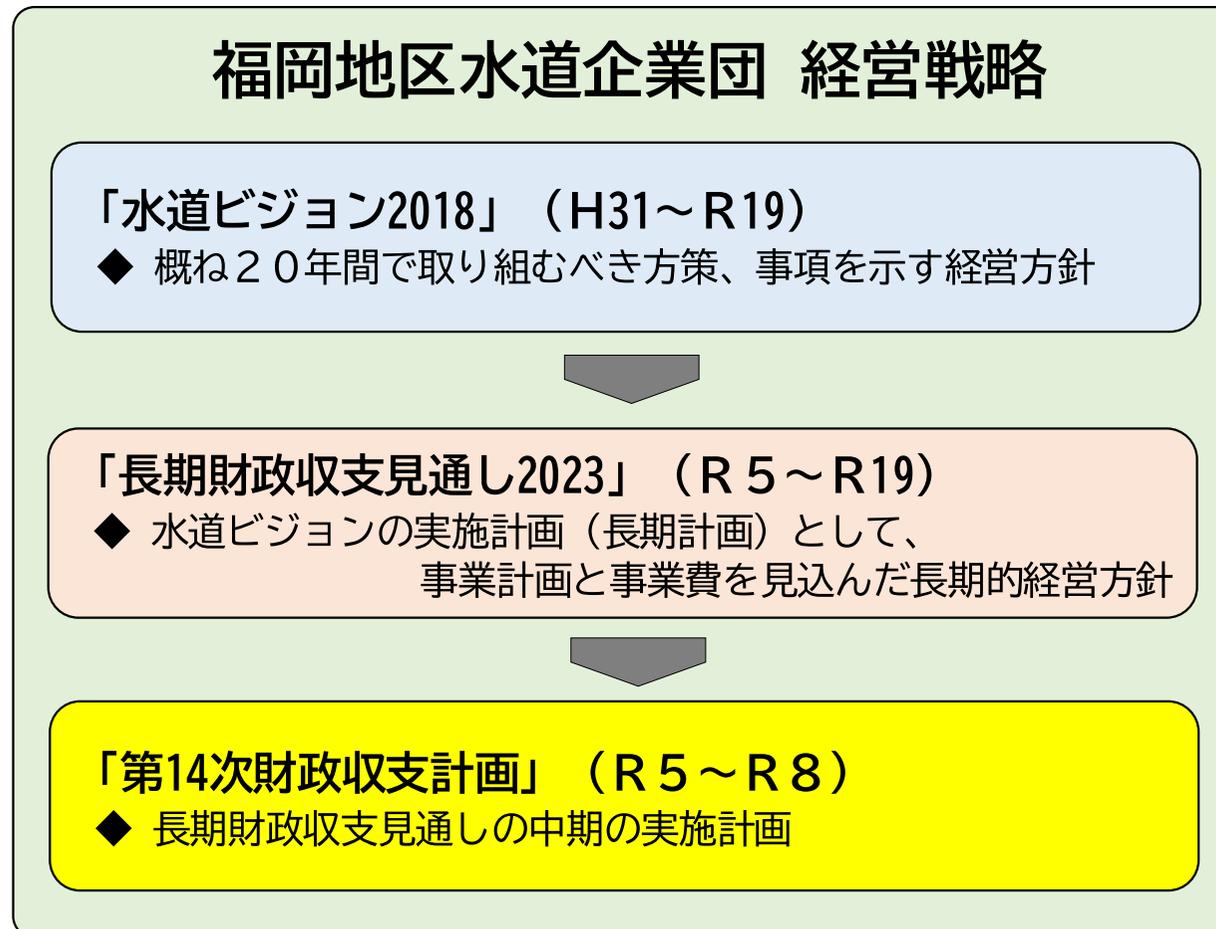
区 分	R 8 予算	R 7 予算	増減(△)
	①	②	①-②
収 入 (C)	4,795	5,211	△ 415
支 出 (D)	9,778	10,503	△ 724
収支差(C-D)	△ 4,983	△ 5,292	309

- ・ 企業債等の減△
- ・ 設備費等の減△

## 2 事業の概要

### (1) 福岡地区水道企業団の基本方針

将来にわたって安全で良質な水道用水を安定的に供給するとともに、それらを支える安定経営を持続していく。



## (2) 用水供給事業

- 年間総供給水量

9,157 万 $m^3$ /年

(令和7年度予算に同じ)

- 一日平均供給水量

25 万 $m^3$ /日

(令和7年度予算に同じ)

例年通り

水道用水を安定供給



## (3) 主要事業

### ① 海水淡水化施設の設備更新

供用開始後20年経過、更新時期を迎えた機器の更新

#### 【令和8年度の取組】

(新規)

遠方監視制御設備更新工事（令和8～10年度）等

(継続)

高圧RO膜設備更新工事（令和5～8年度）

高圧ROポンプ設備外更新工事（令和7～12年度）等

(単位：百万円)

令和8年度	令和7年度	増減(△)
1,324	1,212	112



### ② 浸透圧発電の実用化

#### 【令和8年度の取組】

- 技術的な検証の継続  
(運転開始後5年間を検証期間としている)

#### <報道等>

- 海外を含む多数の大手メディアからの取材・報道  
(政府広報ウェブマガジン「KIZUNA」、  
国際メディア「Bloomberg Media」等)
- 令和7年度国土交通大臣賞を受賞  
(循環のみち下水道賞 上下水道一体部門)

#### (検証状況)

発電電力 151kW/230kW (約7割まで達成)



### ③ 牛頸浄水場の改良・更新

牛頸浄水場及び送水施設の機能維持と機器の更新

#### 【令和8年度の取組】

(継続)

畑詰ポンプ場 電気設備更新工事(令和7～8年度)

牛頸浄水場 ろ過池防水工事(4池) 等

(単位：百万円)

令和8年度	令和7年度	増減(△)
1,182	827	356

(注) 単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある



### ④ 管路の耐震化

管路整備計画に基づき、耐震化、危機対応のための機能強化

#### 【令和8年度の取組】

(継続)

#### 管路整備事業 (第I期)

総延長 32.2km のうち

整備率：22.9km R7年度末時点 71.1%

⇒ 26.3km R8年度末時点 81.7%

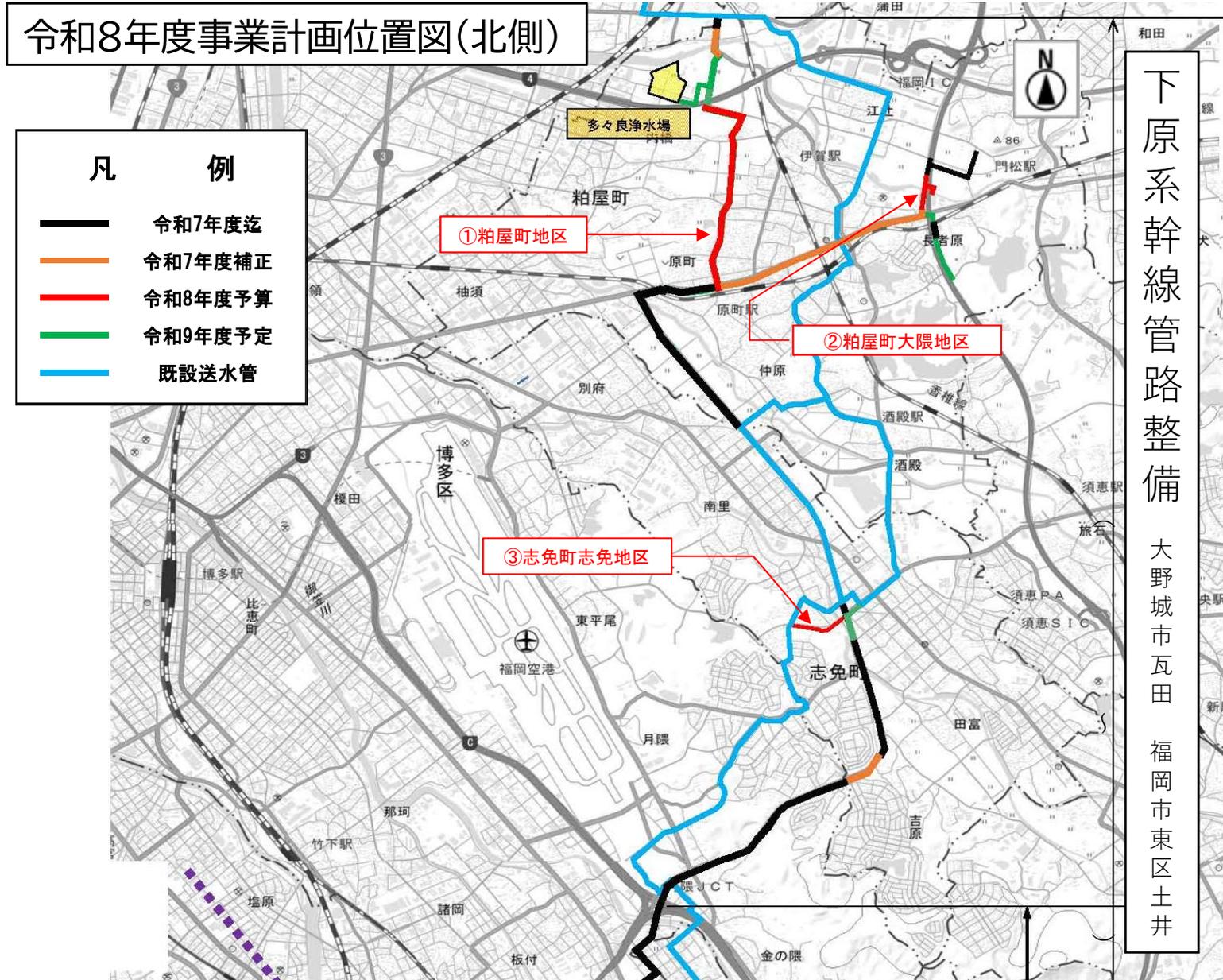
(単位：百万円)

令和8年度	令和7年度	増減(△)
3,557	4,848	△ 1,291
( 4,896)		( 47)

(注1) ( )内は、令和7年度補正予算との合計金額

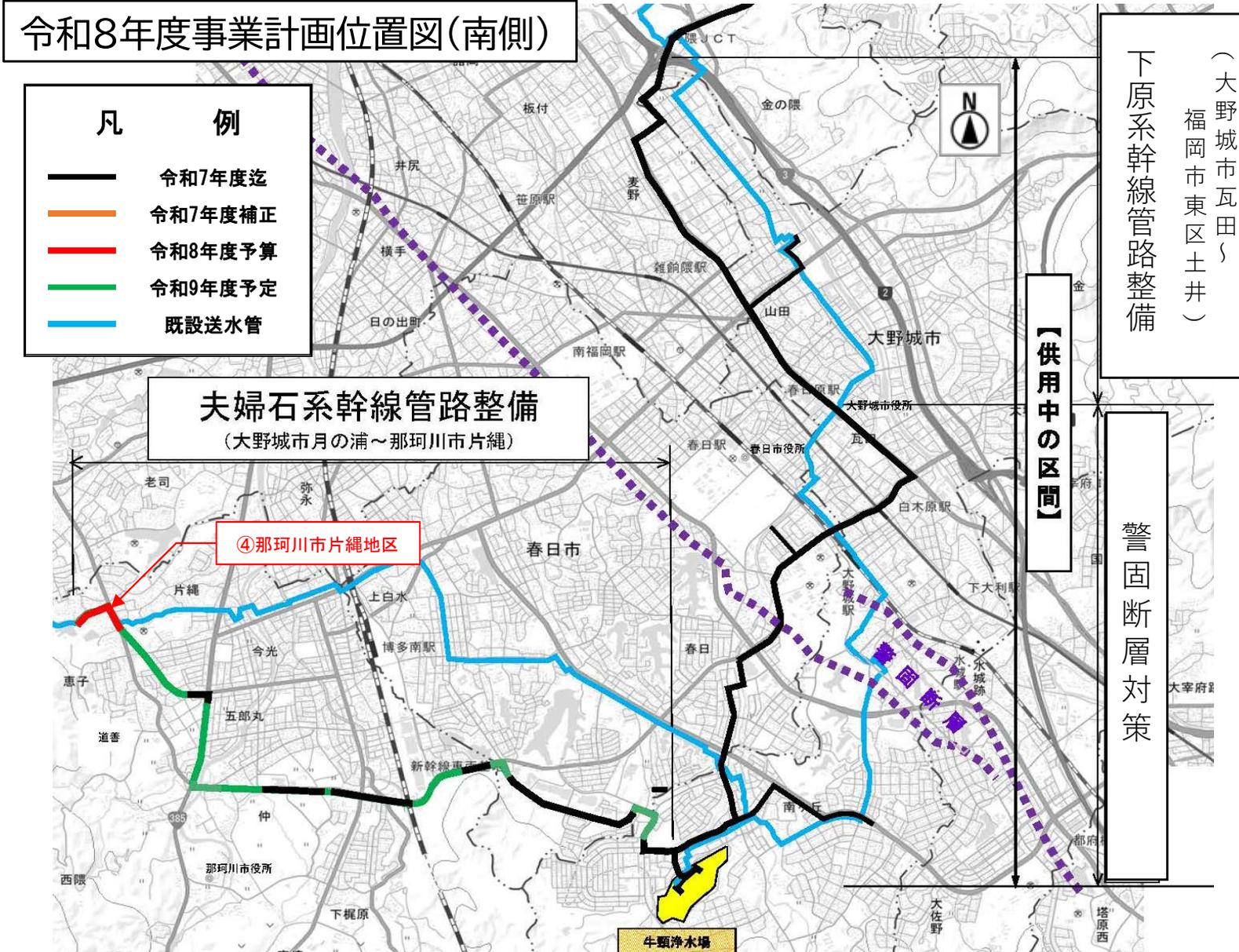
(注2) 単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある

### ④ 管路の耐震化



## 2 事業の概要 (3) 主要事業

### ④ 管路の耐震化



## ⑤ 福岡導水施設地震対策

福岡導水施設の耐震性を確保するために、(独)水資源機構が実施し、その事業費を負担

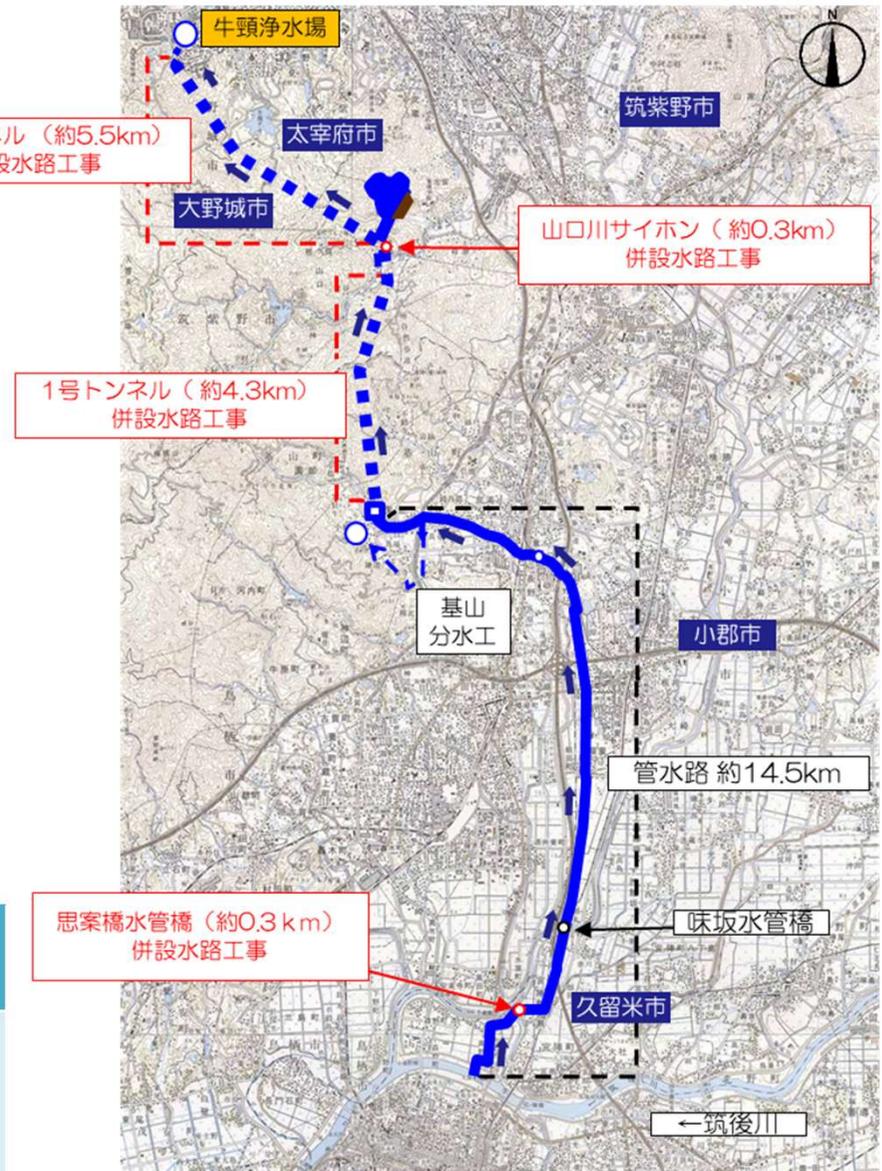
### 【令和8年度の取組】

2号トンネル併設水路築造工事  
 思案橋水管橋併設水路築造工事 等

(単位：百万円)

令和8年度	令和7年度	増減(△)
2,115	1,427	688

福岡導水施設平面図 (赤字は令和8年度事業対象箇所)



提供：(独)水資源機構筑後川下流総合管理所

### ⑥ 地球温暖化対策の推進

「地球温暖化対策実行計画」(令和5年12月策定)に基づき、  
温室効果ガスの排出量を削減

---

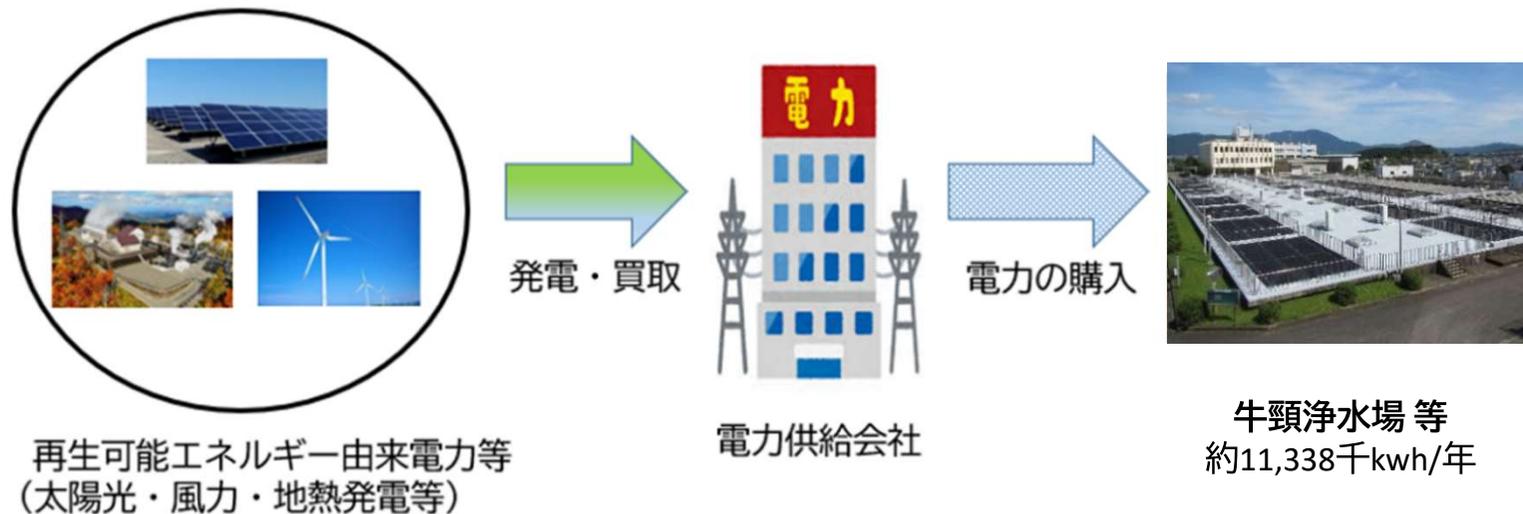
- ア 再生可能エネルギー由来電力等の導入(令和7年度開始)
- イ 太陽光発電の導入
- ウ ディマンド・レスポンスの導入
- エ 浸透圧発電の運用(令和7年度開始)
- オ 照明設備のLED化(平成25年度～令和12年度)
- カ 省エネ機器(動力回収装置※等)の導入(～令和12年度)  
※動力回収装置: 淡水製造時に排出される高圧濃縮海水の圧力エネルギーを回収

### ⑥ 地球温暖化対策の推進

#### ア 再生可能エネルギー由来電力等の導入 (R 8 予算5,120千円)

本庁舎に引き続き、牛頸浄水場などにおける高圧受電の全電力を

再生可能エネルギー由来電力等へ順次切り替える。



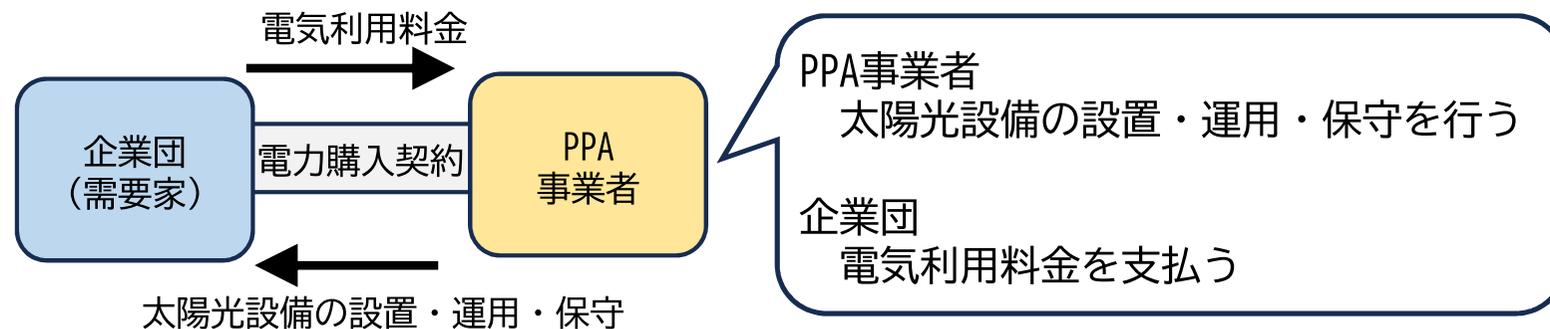
※その他の施設等は、コストが経営を圧迫しない範囲で導入を検討

### ⑥ 地球温暖化対策の推進

#### イ 太陽光発電の導入 (R8 予算 一 千円)

令和8年度は、新技術（ペロブスカイト太陽電池等）の特性や市場動向を把握し、総合的な観点から合理的な選択となるよう、導入の最適なタイミングについて検討する。

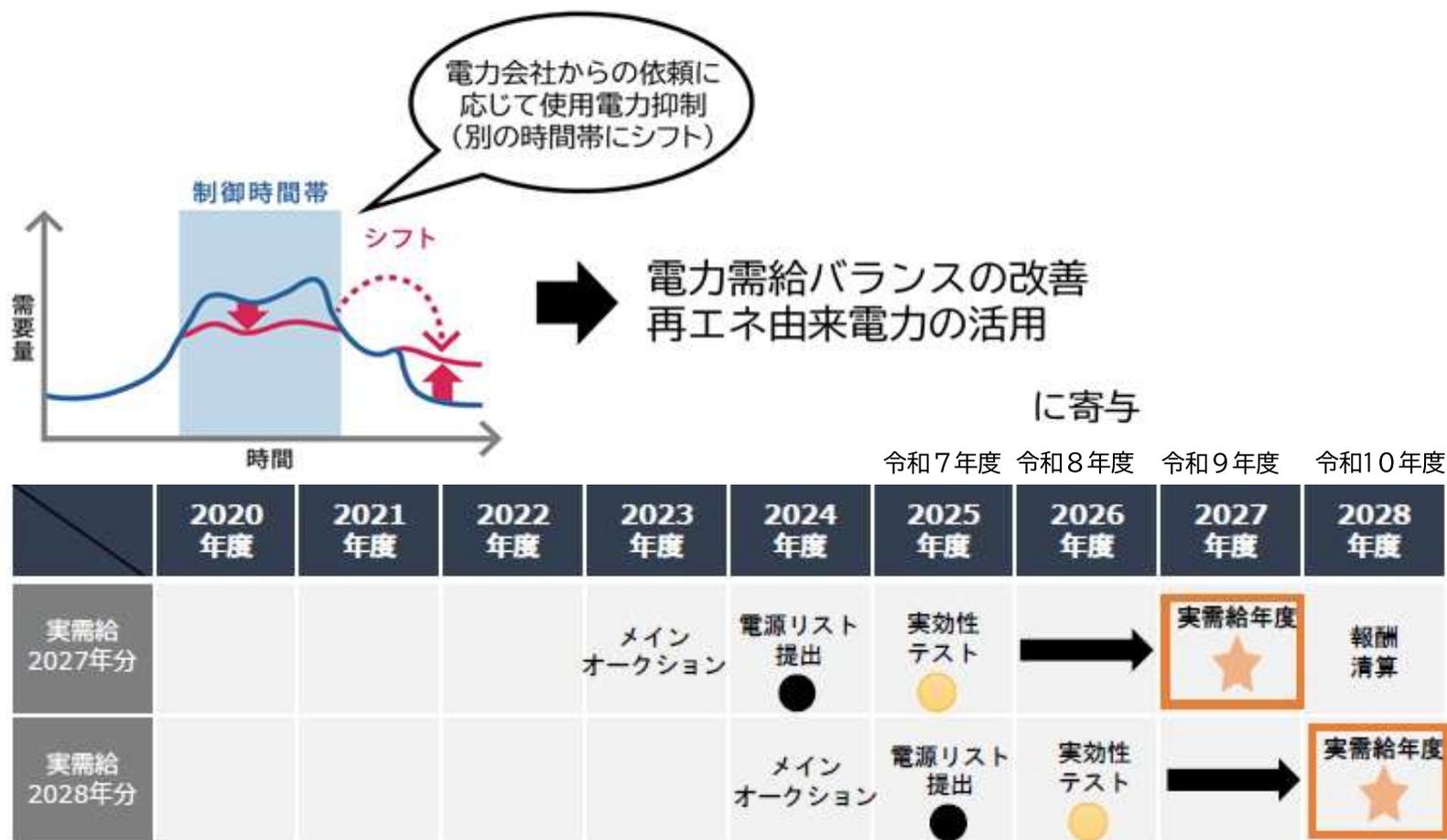
(PPAについて)



## ⑥ 地球温暖化対策の推進

### ウ ディマンド・レスポンスの導入 (R8 予算 一 千円)

令和9年度以降の海水淡水化センターでの導入開始に向け、  
令和7年度に引き続き、実効性テストを行う。



### ⑦ DXの導入・活用

業務効率化による人的資源の有効活用を図るため、  
業務改善の一環として導入・活用

---

ア 遠隔漏水監視システムの導入【新規】

イ 地下埋設物調査WEB申請（令和7年度開始）

ウ ドローンを使用した水道施設の点検（令和7年度開始）

エ 水質情報共有システムの活用（令和7年度開始）

オ 庶務管理システム及びグループウェアの活用（令和7年度開始）

カ 管路管理クラウドシステムによる現場調査



### ⑦ DXの導入・活用

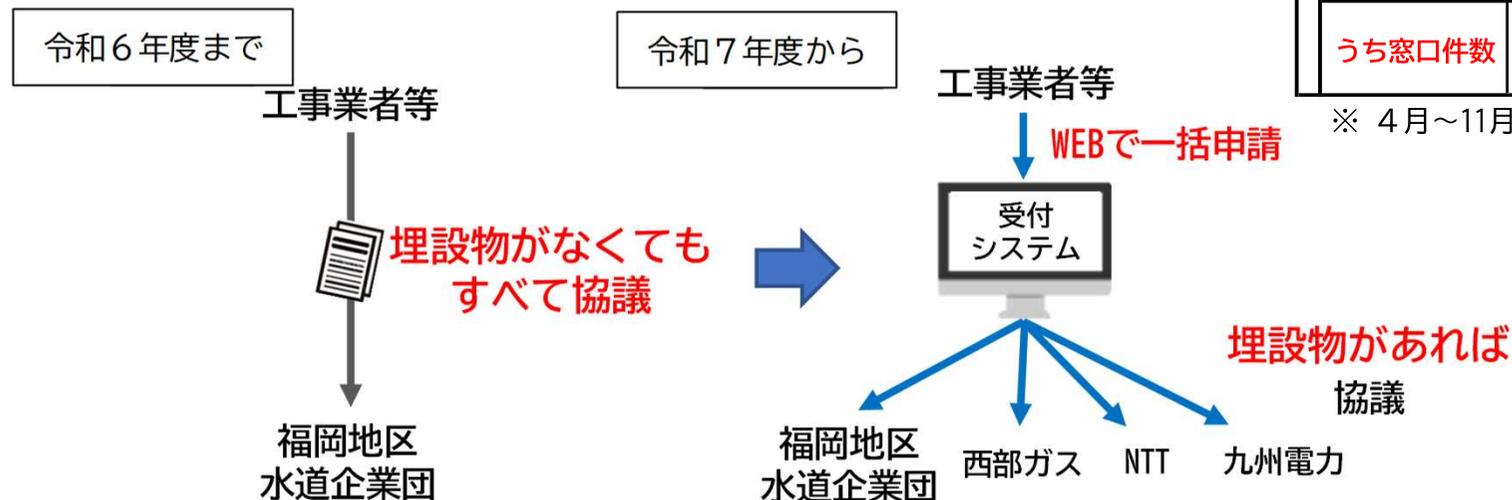
#### イ 地下埋設物調査WEB申請 (R8 予算423千円)

- ▶ 工事業者等の負担軽減や職員の業務効率化、協議漏れによる破損事故を防止する。

【導入前と導入後の件数】

	令和6年度 (導入前)	令和7年度 (導入後)	増減
受付件数	465	480	15
うち窓口件数	465	176	△ 289

※ 4月～11月までの集計



### ⑦ DXの導入・活用

#### ウ ドローンを使用した水道施設の点検 (R8 予算 一 千円)

- ▶ ドローンを使用することにより、点検の迅速化を図る。



従来の点検  
(足場の設置が必要)



ドローンでの点検

○令和8年度点検予定

- ・牛頸水管橋
- ・白木原水管橋
- ・酒殿水管橋
- ・御笠川水管橋
- ・谷山川水管橋

### 3 令和8年度予算(案)の概要

### 3 予算(案)の概要 (1) 収益的収支

## (1) 収益的収支 (事業運営に関する収益と費用)

(単位：百万円)

款・項	令和8年度予算 ①	令和7年度予算 ②	前年度比較 ③=①-②
1.水道用水供給事業収益(A)	13,010	13,059	△ 49
1.営業収益	11,793	11,698	95
2.営業外収益	1,217	1,361	△ 144
3.特別利益	0	0	0
1.水道用水供給事業費用(B)	12,561	12,583	△ 22
1.営業費用	12,400	12,460	△ 60
2.営業外費用	155	118	38
3.特別損失	1	0	0
4.予備費	5	5	0
単年度収支差(A)-(B)	449	476	△ 27

- Ⓐ 営業収益の増
- Ⓑ 営業外収益の減△
- Ⓒ 営業費用の減△

(参考)

水道用水供給事業収益(税抜)	11,654	11,716	△ 62
水道用水供給事業費用(税抜)	11,939	12,002	△ 63
単年度収支差(税抜)	△ 285	△ 286	1

(注) 単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある。

令和8年度の損失(2億8,500万円)は繰越利益剰余金で補てん

## 収益的収支の主な増減

### 【収益】

① 営業収益 (9,500万円の増)

五ヶ山ダム供用開始に伴う減免終了による給水収益の増

② 営業外収益 (1億4,400万円の減△)

長期前受金戻入の減△ など

## 収益的収支の主な増減

### 【費用】

#### ◎ 営業費用 (6,000万円の減)

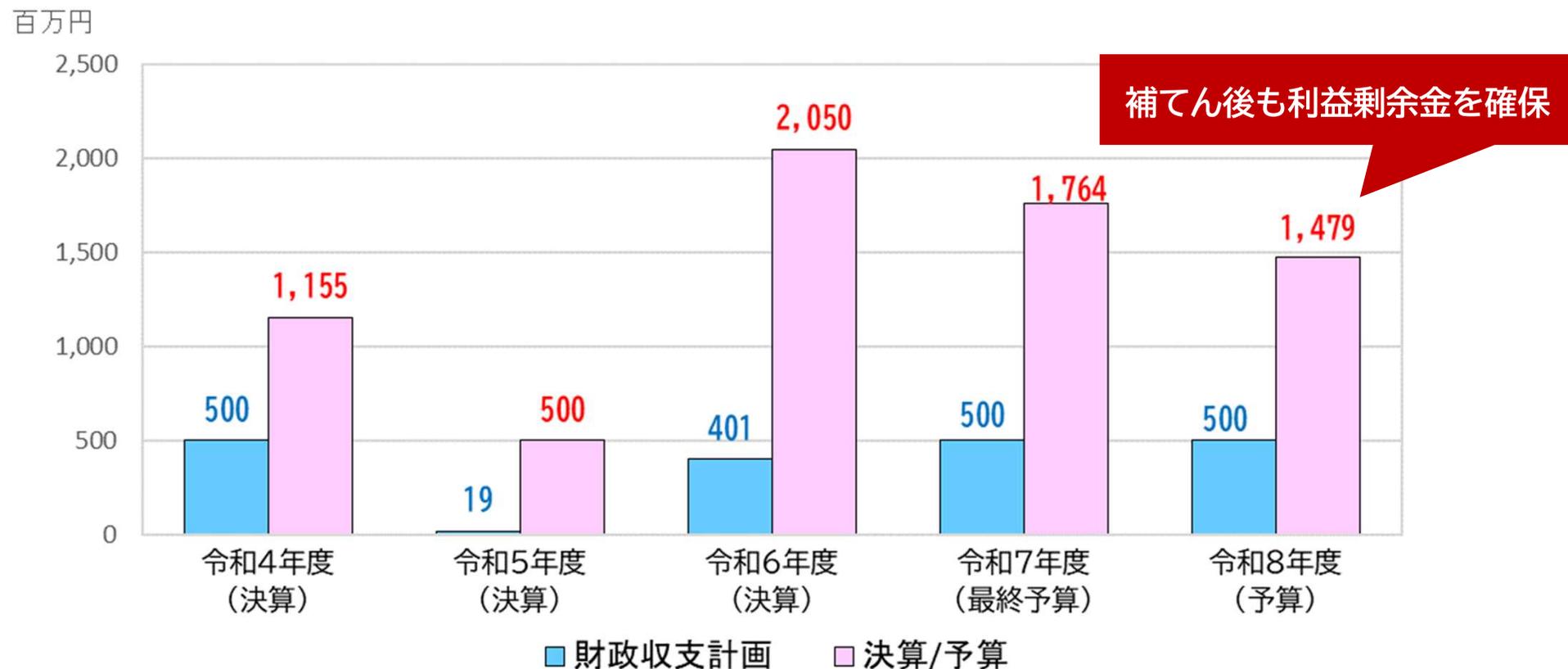
- ダム等管理負担金 1億1,200万円の増
- 修繕費等 3億2,900万円の増
- 減価償却費 4億3,500万円の減△
- その他 6,600万円の減△

#### 【主な増要素】

- 修繕費 2億1,800万円  
(労務単価等の上昇による)
- 薬品費 8,400万円  
(薬品単価の上昇による)

### 3 予算(案)の概要 (1) 収益的収支

#### 【各年度末における繰越利益剰余金の推移】



令和8年度は単年度赤字2億8,500万円となるが、  
繰越利益剰余金で補てんし、なお利益剰余金14億7,900万円を確保

### 3 予算(案)の概要 (2) 資本的収支

## (2) 資本的収支(施設整備等に関する収入と支出)

(単位：百万円)

款・項	令和8年度予算 ①	令和7年度予算 ②	前年度比較 ③=①-②
1.資本的収入(A)	4,795	5,211	△ 415
1.企業債	2,854	3,315	△ 461
2.国庫補助金	708	999	△ 291
3.出資金	1,231	883	348
4.固定資産売却代金	3	0	3
▲ その他の資本的収入	0	14	△ 14
1.資本的支出(B)	9,778	10,503	△ 724
1.設備費	6,780	7,959	△ 1,179
2.国営事業等負担金	2,115	1,454	660
3.償還金	831	1,044	△ 214
4.国庫補助金返還金	48	40	8
5.予備費	5	5	0
資本的収支不足額 (B) - (A)	4,983	5,292	△ 309

Ⓐ

管路整備事業  
(管路の耐震化)

Ⓐ

Ⓐ

Ⓑ

福岡導水地震対策事業

Ⓐ

Ⓑ

(注) 単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある。

資本的収支不足額 (49億83百万円) は損益勘定留保資金等で補てん

## 資本的収支の主な増減

### ① 管路整備事業（管路の耐震化）

- 企業債 5億 100万円の減△
- 国庫補助金 2億8,700万円の減△
- 請負工事費 等 12億8,800万円の減△

令和7年度補正予算にて別途予算措置

### ② 福岡導水地震対策事業

- 国営事業等負担金 6億6,000万円の増  
(事業費増による負担金の増)

## 4 債務負担行為

## 4 債務負担行為 (1) 収益的支出

### (1) 収益的支出

#### 牛頸浄水場整備事業 (R8~9)

【148,751千円】

送水ポンプ修理 (八田ポンプ場、波多江ポンプ場、宇美ポンプ場)

送水ポンプの部品交換を含む分解整備

事 項	期 間	限 度 額 ( 千 円 )
牛 頸 浄 水 場 整 備 事 業 ( 令 和 8 年 度 分 )	令 和 9 年 度	148,751

## 4 債務負担行為 (1) 収益的支出

### (2) 資本的支出

#### 【債務負担行為事項一覧】

事 項	期 間	限 度 額 ( 千 円 )
福岡導水施設地震対策事業負担金	令和9年度から 令和17年度まで	導水路上流部施設に要する費用の額に1000分の968を乗じた額と導水路下流部施設に要する費用の額を加えた額相当額
管路整備工事 (令和8年度分)	令和9年度	1,990,368
牛頸浄水場等設備更新工事等 (令和8年度分)	令和9年度	764,546
水質センター電気設備等更新工事 (令和8年度分)	令和9年度	143,970
海水淡水化施設設備更新工事 (令和8年度分)	令和9年度から 令和10年度まで	193,888

## 4 債務負担行為 (2) 資本的支出

### (2) 資本的支出

#### 福岡導水施設地震対策事業負担金

事 項	期 間	限 度 額 ( 千 円 )
福岡導水施設地震対策事業負担金	令和9年度から 令和17年度まで	導水路上流部施設に要する費用の額に1000分の968を乗じた額と導水路下流部施設に要する費用の額を加えた額相当額

#### 【福岡導水地震対策事業】

事業実施計画の変更 (令和7年度用水供給事業促進対策委員会報告済)

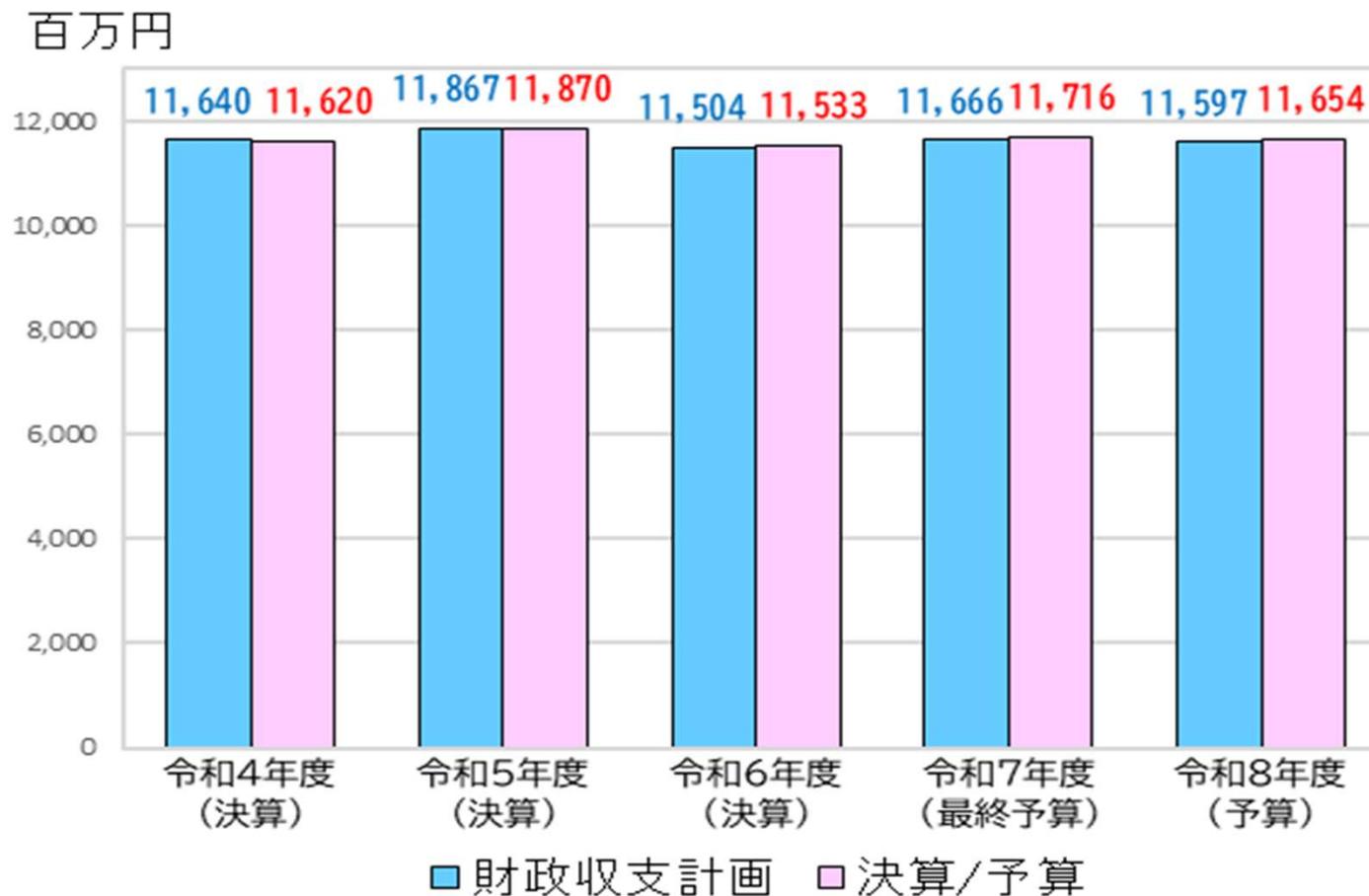


期間の変更 (変更前：～令和14年度 変更後：～令和17年度)

## 5 財政状況

## 5 財政状況 (1) 収益的収支 収益

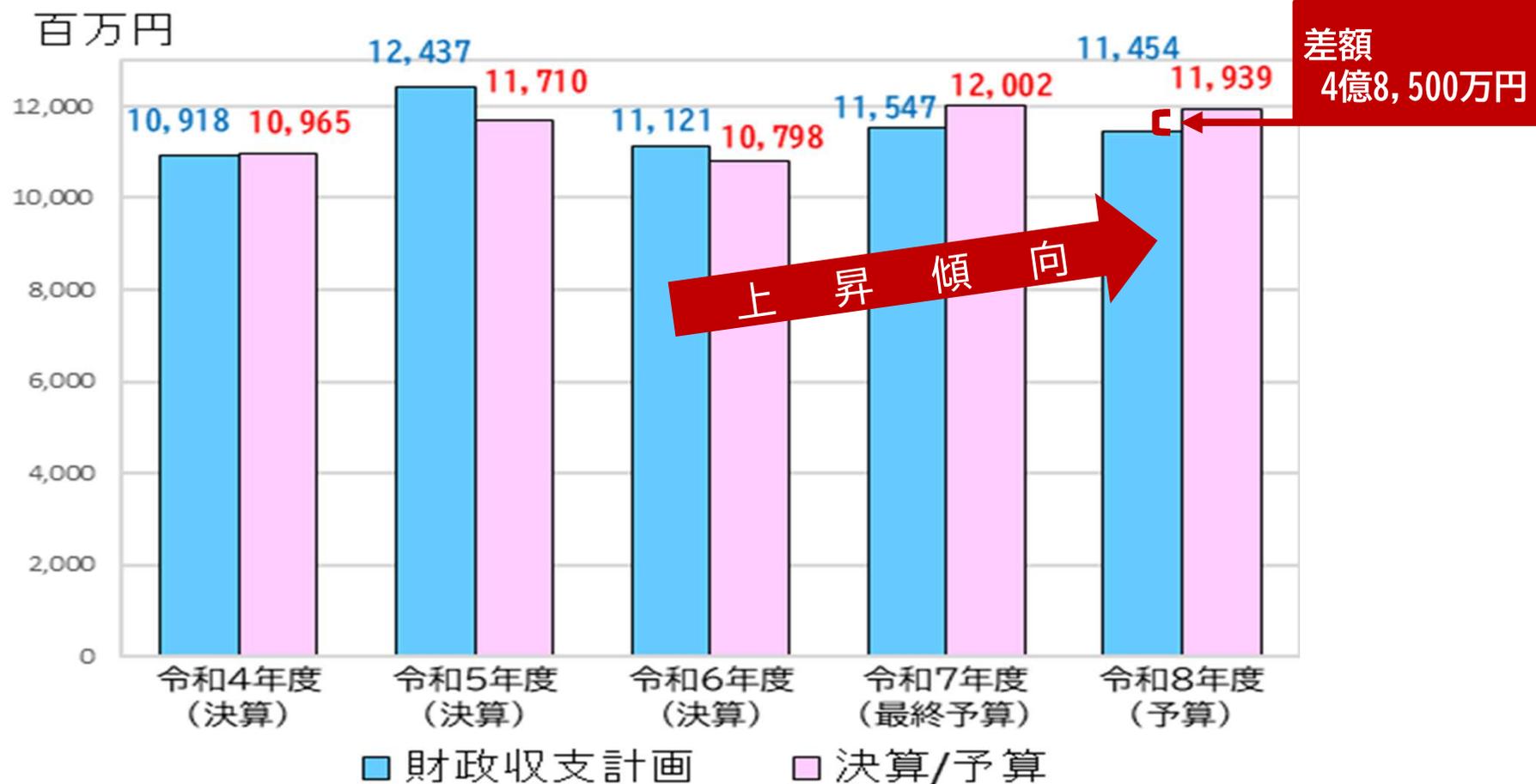
### (1) 収益的収支の収益(税抜)の推移



収益は「財政収支計画」とおり **一定水準を維持**

## 5 財政状況 (1) 収益的収支 費用

### (2) 収益的収支の費用(税抜)の推移



費用は物価上昇に伴い上昇傾向

令和8年度における財政収支計画からの主な費用増減  
(4億8,500万円：税抜)

① 労務単価等の物価上昇による増

ア 委託料 1億2,800万円

イ 修繕費 1億8,600万円

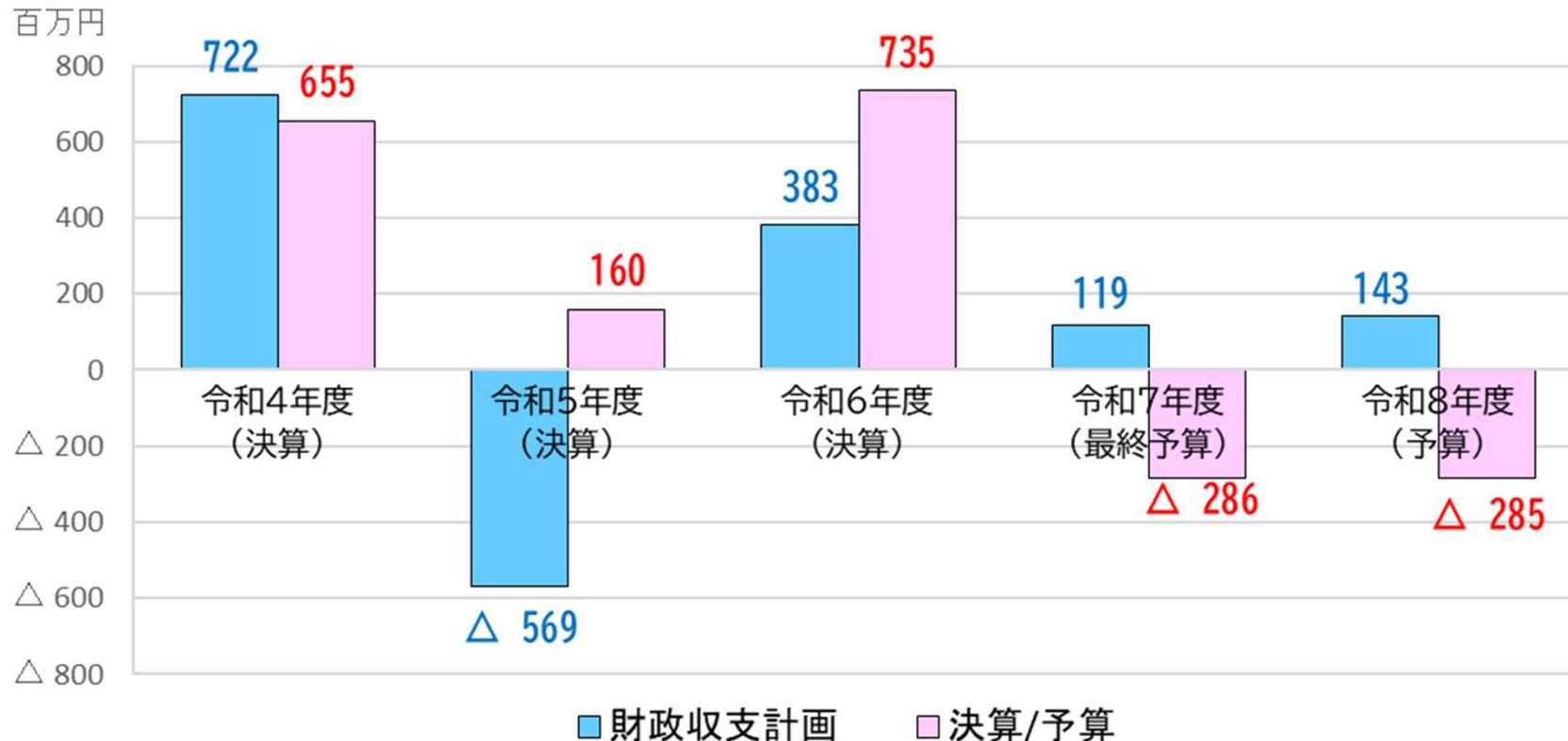
② 電気料金や薬品単価の上昇による増

ア 負担金 1億4,600万円

イ 薬品費 1億3,000万円

## 5 財政状況 (3) 収益的収支 単年度純損益

### (3) 収益的収支の単年度純損益(税抜)の推移



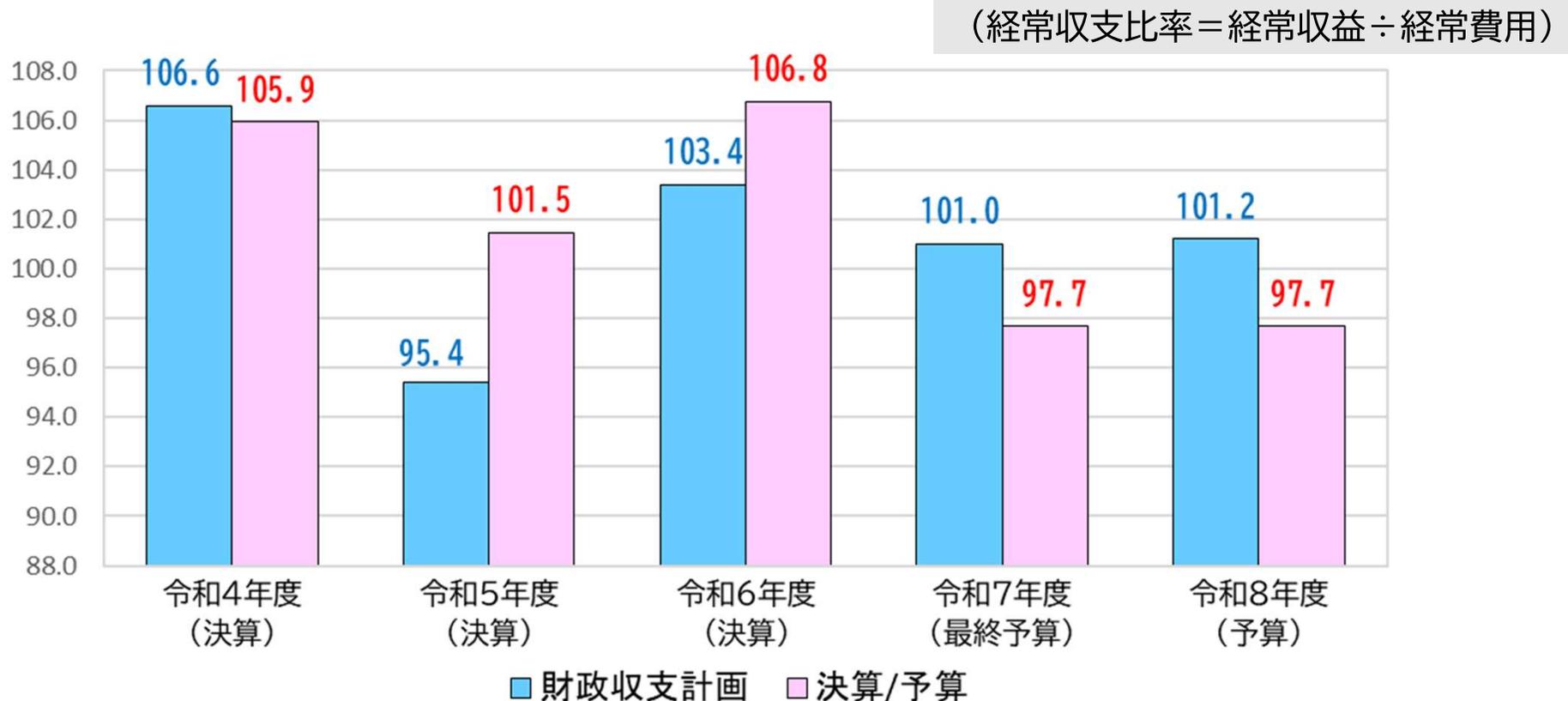
※ 14次財政収支計画期間（令和5～8年度）における単年度純損益の合計

■ 財政収支計画（75百万円） < ■ 決算/予算（323百万円）

2年度連続の赤字予算であるが、14次財政収支計画期間における  
単年度純損益の合計額で見ると3億2千万円の利益を確保

## 5 財政状況 (4) 経常収支比率 推移

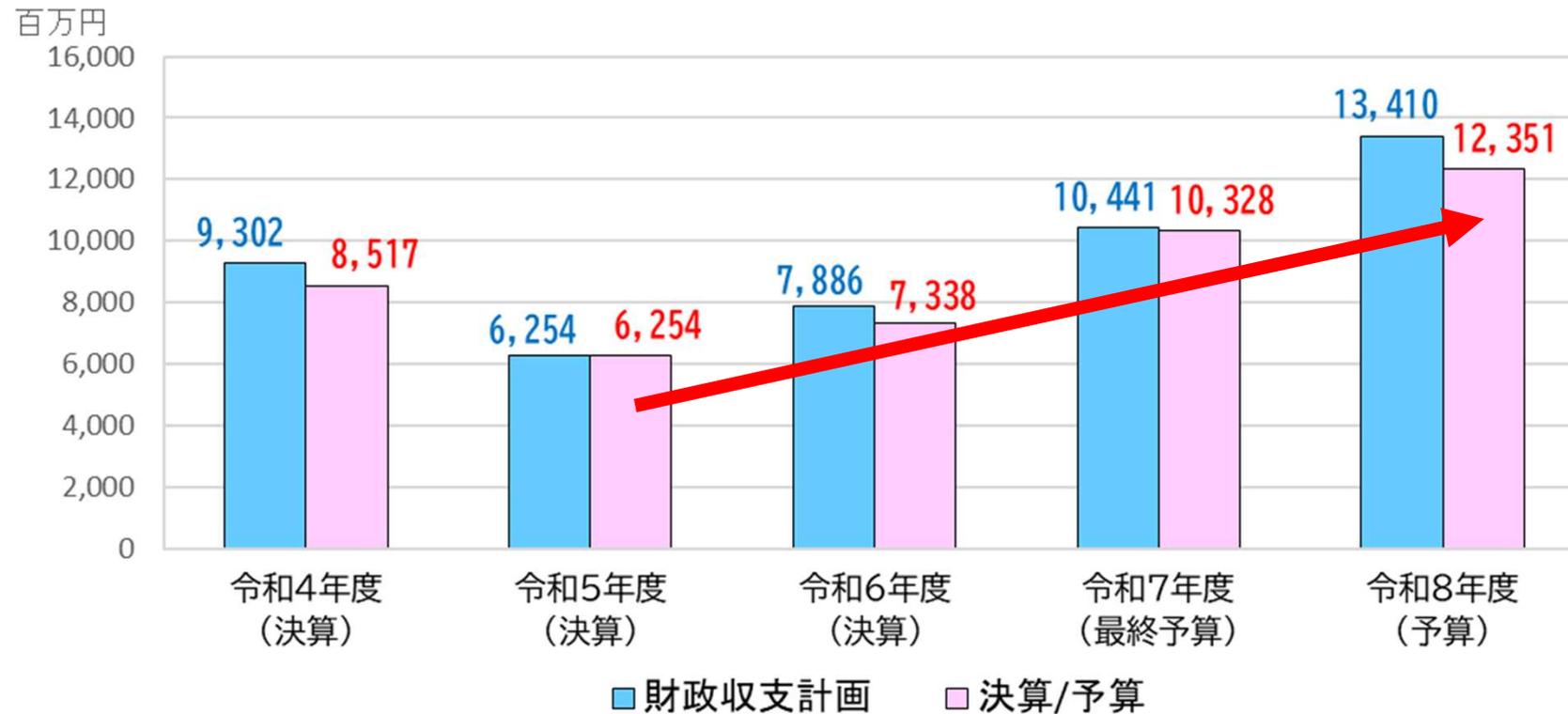
### (4) 経常収支比率の推移



※ 経常収支比率は経常費用が経常収益によりどの程度賄われているかを示す指標であり、100%未満では単年度赤字が生じていることを意味する。

物価上昇に伴う費用の増加により減少傾向  
⇒ **経営改善が必要**

### (5) 企業債等残高(税抜)の推移



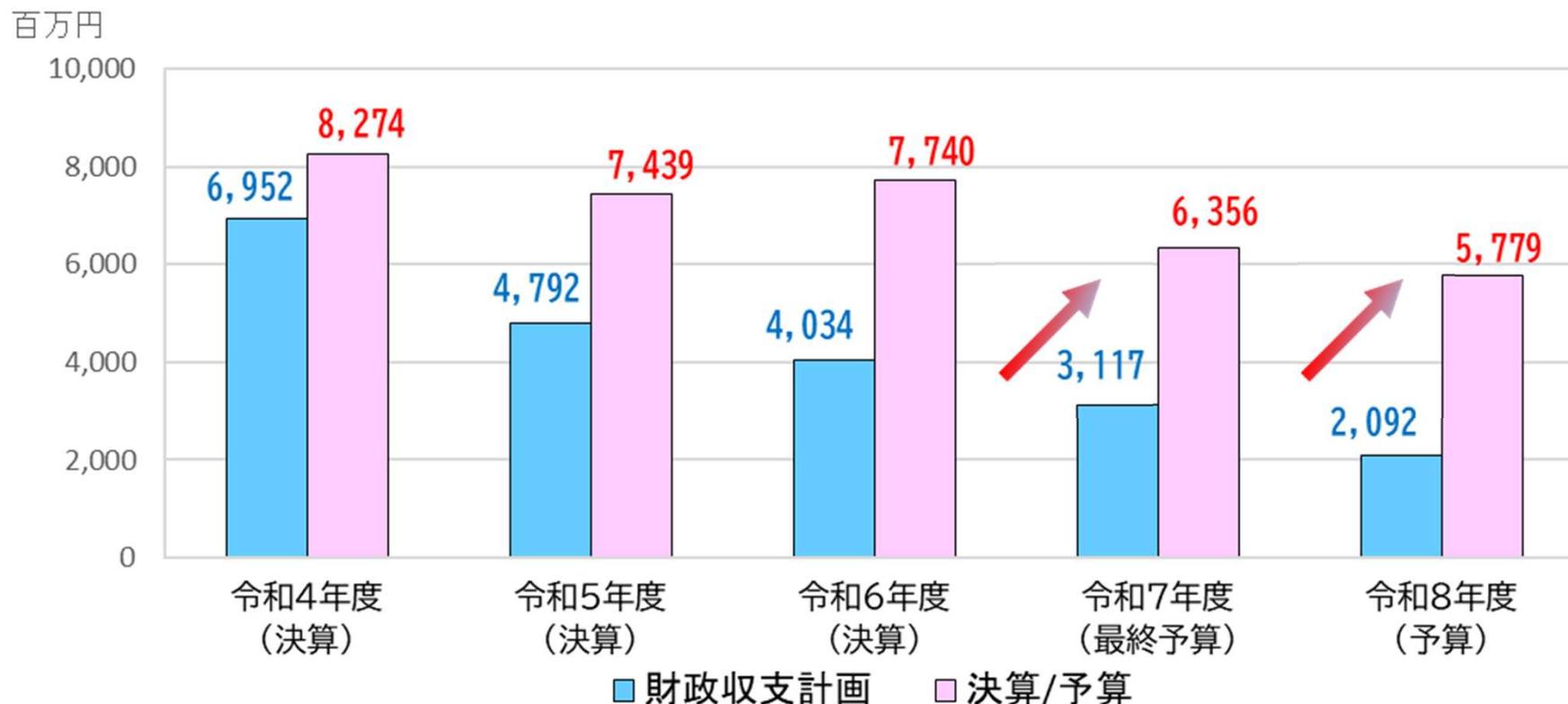
※ 企業債残高のピークは平成12年度 85,687百万円

H30~R5 企業債の借入を停止

令和6年度から企業債の借入を再開したことにより残高が増加傾向にあるが、「財政収支計画」よりも発行を抑制

## 5 財政状況 (6) 年度末資金残高 推移

### (6) 年度末資金残高の推移

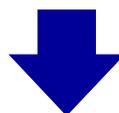


※年度末資金残高のピークは、平成26年度以降では令和2年度 9,244百万円

予算より決算が好転したことにより、  
「財政収支計画」を上回る資金残高を確保

## (7) 財政状況の総括

- 企業債等により主要事業等の推進に必要な**資金を確保**できているものの
- 収益は横ばいながら費用は物価上昇に伴い上昇傾向にあり**単年度純利益及び経常収支比率は減少傾向にある**



**中・長期的な経営について検討**

「第15次財政収支計画」(令和9~12年度)を策定するとともに、  
「長期財政収支見通し2027(仮称)」の策定  
及び「水道ビジョン2018」の一部改訂

## 6 令和8年度機構整備 及び職員配置計画

## 6 令和8年度機構整備及び職員配置計画

- 牛頸浄水場の業務執行体制の見直し
  - ・ 係間の業務量の増減に伴う人員配置変更
- 水質センターの係の名称変更
  - ・ 利便性向上のため、業務内容を反映した係名に変更

\_\_\_\_\_ : 変更

現 行 (令和7年度)	整備案 (令和8年度)
<p>企業長 ほか 70</p> <p>施設部</p> <pre> graph LR     A[施設部] --- B[牛頸浄水場 (17)]     A --- C[水質センター (11)]     B --- D[浄水第1係 (12)]     B --- E[浄水第2係 (4)]     C --- F[第1係 (5)]     C --- G[第2係 (5)]           </pre>	<p>企業長 ほか 70</p> <p>施設部</p> <pre> graph LR     A[施設部] --- B[牛頸浄水場 (17)]     A --- C[水質センター (11)]     B --- D[浄水第1係 (13)]     B --- E[浄水第2係 (3)]     C --- F[水質管理係 (5)]     C --- G[検査支援係 (5)]           </pre>

## 【議案第3号】

福岡地区水道企業団水道用水供給事業の設置等に関する条例  
の一部を改正する条例案

# 福岡地区水道企業団水道用水供給事業の設置等に関する条例 の一部を改正する条例案【議案第3号】

## 1 条例改正の理由

地方自治法の一部改正に伴い、**条例の引用条文に条ずれが生じたため**、規定の整備を行う必要があるもの。

## 2 改正の内容

地方自治法の引用条文の修正を行ったもの。

## 3 施行期日

令和8年9月24日